

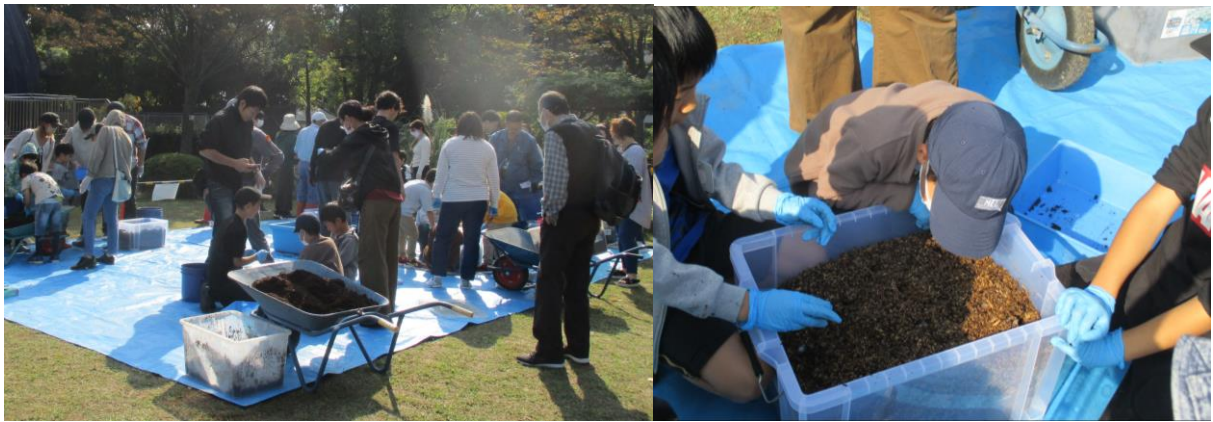
令和5年度「チョウの家」・「カブトムシの家」サポーターによる

カブトムシの幼虫の土の入れ替え作業体験イベント

令和5年11月4日（土）、サポーターの皆様とご家族合わせて25組71名の方々に、カブトムシの幼虫の土の入れ替え作業体験イベントに参加いただきました。土の入れ替え作業は、幼虫たちが無事に冬を越して元気な成虫に育つための快適なおうちを作ってあげる大切な作業です。

サポーターの皆様は、専門主事からカブトムシの一生についての話と作業手順の説明を聞いたあと、楽しみながらも真剣に取り組んでくださっていました。

作業は、まず「移植ごて（スコップ）」や手を使って、腐葉土や新しい土を混ぜ合わせて、新しい土のおうちを作ります。真剣な表情で、よいしょ…よいしょ…素敵なおうちが完成！



次に、古い土の中からカブトムシの幼虫を探り出し、新しいおうちの上にそっと移し替えてあげます。大きな幼虫を見てびっくり！小さなお子さんの中には、びっくりしすぎて触れない子もいましたが、それでも一生懸命応援し、見守ってくれました。



最後は、幼虫が新しい土の中に潜っていく様子を観察して、作業体験を終えました。

子どもたちにとって、カブトムシの幼虫のお世話を通じてふれあい、命の大切さを学ぶ、貴重な体験となったのではないのでしょうか。

今回お世話をしてもらったカブトムシの幼虫たちは、来年の夏にはきっと元気で大きな成虫に成長しているはずです。その時は青少年科学センターに会いに来てくださいね。

職員一同、お待ちしております！